



立川市 新型コロナウイルス感染症にかかる 緊急対応方針（第5弾）

令和3年9月16日



はじめに

- ▶本市では、現在まで4回の緊急対応方針を決定し、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいりました。
- ▶首都圏を含む一部地域では、緊急事態宣言が令和3年9月30日まで延長され、さらに医療提供体制のひっ迫、重症者数の高止まり、ワクチンの全世代への接種加速などの社会情勢の変化に対応する必要があります。
- ▶そのため、第5弾の緊急対応方針を定め、取り組みを拡充してまいります。



~“オールたちかわ”でこの難局を乗り越えるための緊急対応・第5弾~

緊急対応策としての4つの柱

1. **地域医療・地域福祉事業にかかる取り組み**
2. **地域住民と市民生活にかかる取り組み**
3. **地域経済と新たな環境づくりにかかる取り組み**
4. **感染予防対策の取り組み**

→これらの支援を着実に実行するために、速やかに補正予算案を提出し取り組んでまいります。

1 地域医療・地域福祉事業にかかる取り組み



■ 新型コロナウイルスワクチンの全世代向け接種の加速等

拡充

(一部予算化済み、補正予算案 約2億2,000万円)

- 12歳から18歳までの年齢層への接種、妊婦への検診時等における優先接種を実施します。
- 夜間接種や予約なしによる集団接種と個別接種を通じて希望する方の接種を加速します。

■ 自宅療養者等への支援

新規

(一部予備費対応済み、補正予算案 約1,400万円)

- 自宅療養者への食料品等の提供やパルスオキシメーターの貸与を行います。
- 入院後、軽症となり、自宅療養が可能となった方に交通手段を提供します。

■ 電子図書館の臨時利用者IDの発行

新規

- 市内在住でコロナ禍で外出自粛をしている方や自宅療養者に対して、臨時利用者IDを発行します。

■ ふるさと納税「新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者

R3新規

応援プロジェクト」(第2弾)準備

【主な継続取組】

- ▶ 介護施設等におけるPCR検査等補助、在宅要介護者受入体制整備支援



2 地域住民と市民生活にかかる取り組み

■ 2021年新成人対象交流事業の実施 **新規** (予算化済み)

→「2021年成人を祝うつどい」を会場開催できなかったため、2020年に新成人となった方を対象に11月27日に子ども未来センター広場で交流事業を実施します。

■ 2022年成人を祝うつどいでの会場中継の実施 **R3新規** (予算化済み)

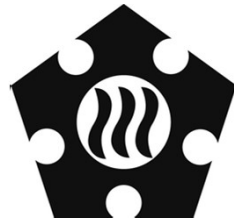
→たましんRISURUホールで開催される、「2022年成人を祝うつどい」について、大ホールの式典の様子を、小ホールに中継し、新成人の受け入れ態勢を整えるとともに、後日式典内容をオンラインで配信します。

■ 家庭ごみ収集事業 **R3新規** (予算化済み)

→新型コロナウイルスの感染リスクを抑えるため、令和2年度と同様、指定収集袋を宅配便で減免対象者に配布します。

【主な継続取組】

▶ 生活困窮者自立支援金の継続支給



3 地域経済と新たな環境づくりにかかる 取り組み

■ 中小事業者事業継続支援金事業 **新規** (補正予算案 約1億1,300万円)

→アクリル板の設置や消毒液の購入、テイクアウト等新たなサービスの導入等、感染症の影響により中小事業者が取り組んだ経費に対し、支援します。

■ 地域学習館へのWi-Fiの整備 **新規** (補正予算案 約400万円)

→地域学習館6館にWi-Fiを整備し、コロナ禍での生涯学習を支援します。

【主な継続取組】

- ▶ 地域経済活性化キャンペーン事業 (対象店舗でのキャッシュレス決済で最大30%還元 9/1~9/30)
- ▶ 立川エール「くるりんスタンプラリー」の開催 (9/17~12/19)
- ▶ 市民課と窓口サービスセンターにおけるセルフレジ導入・キャッシュレス決済の準備



4 感染予防対策の取り組み

- 学校におけるCO2センサーの導入 **新規** (補正予算案 約1,700万円)
→CO2濃度の見える化により、適切な換気が実施できるよう学校の教室にCO2センサーを導入します。
- 感染予防物品購入 **継続** (予備費対応)
→公共施設（本庁舎や子ども未来センターなど）での感染拡大防止のための物品等を購入して適切に対応します。

*今後、状況変化により内容を変更する場合があります